

市民アンケート結果要約

第三次羽村市産業振興計画 策定のための基礎情報

要約の内容

- 01 アンケート概要 p3-p4
- 02 質問構成第 1 部 ご自身のことについて p5-p6
- 03 質問構成第 2 部 市内での就業について p-7-p8
- 04 質問構成第 3 部 市内での買い物・サービス利用について p9-p11
- 05 質問構成第 4 部 羽村市の産業振興について p12-p17
- 06 課題解決に向けた産業振興施策の方向性 p18-p19

01

アンケート概要

対象・調査目的・質問の構成など

アンケート概要

- 対象：羽村市民
- 調査目的：市民の就業・消費・観光・産業振興に対する意識・ニーズを把握し、産業振興計画策定の基礎情報を収集
- 実施時期：令和8年3月中旬～4月20日
- 実施方法：Web回答
- 質問構成：全16問を4部構成で実施
 - 第1部：性別・年齢・居住地域・家族構成・職業・居住年数など
 - 第2部：就業状況・就業先選定のポイント
 - 第3部：購買行動・商店街への要望・希望する店舗
 - 第4部：観光PR・産業振興の重点施策・自由意見
- 回答数：110人

02

質問構成第 1 部 ご自身のことについて

性別・年齢・居住地域・家族構成・職業・居住年数など

回答いただいた市民の概要

- 性別：男女ほぼ同数（回答しないが１件・１％）
- 年齢：幅広い年代から回答があったが、４０歳代以上が中心
- 居住地域：市内全域から回答（横田基地内は０件）
- 家族構成：核家族が中心
- 職業：会社員・無職が中心（学生は１件・１％）
- 居住年数：３０年以上の長期居住者が多い傾向

アンケート結果p1-p3 質問１）～７）

03

質問構成第 2 部 市内での就業について

就業状況・就職先を選ぶポイントなど

就業状況・就職先を選ぶポイント

- 市内で就業している方のうち7割が今後も市内で就業し続けたいと回答
- 一方、就業していない、市外で就業している方も市内での就業にニーズがある。
- 就職先を選ぶポイントの上位は、仕事内容や職種、収入、勤務時間
- 自由意見：「子育て世帯に柔軟な環境」「車通勤可」を重視する声あり

アンケート結果p4-p5 質問8)～9)

04

質問構成第3部 市内での買い物・サービス利用について

購買行動・商店街への要望・希望する店舗など

買い物場所の傾向：市内 vs 市外

市内利用が中心

- 食料品（スーパー）
- 日用雑貨品（ドラッグストア）
- 理容・美容（個人店が中心）

市外利用が中心

- 衣類・靴・カバン
- 家具・家電
- 趣味・娯楽（市外・広域施設を利用）

- 外食、趣味・娯楽は市内利用・市外利用がほぼ同じ

アンケート結果p6-p9 質問10)

市内商店・商店街への要望／増えてほしい店舗

- 【商店街への要望】品揃えの充実、価格の安さ、商品の品質や魅力の向上が上位

自由意見：「小作駅周辺にカフェやランチ利用できる飲食店が少ない」「家電購入後のアフターサービスの充実」

- 【増えてほしい店舗】飲食店（カフェ・喫茶店含む）、食品系（スーパー・食料品店等）、書店・文具店が上位

その他：衣料品・寝具・靴・カバン類、スポーツ・レジャー施設など

アンケート結果p10-p11 質問12)～13)

05

質問構成第 4 部 羽村市の産業振興について

観光振興でPRしたいもの・産業振興の重点施策・自由意見など

産業振興に関する市民の意見

観光振興でPRしたい資源

- ヒノトントンZOO（羽村市動物公園）
- 玉川上水・羽村取水堰
- 根がらみ前水田
- 花と水のまつり
- 多摩川サイクリングロード・ハイキングコース

産業振興で力を入れるべきこと

- 駅前・商店街の活性化
- 働く場所・仕事の機会の充実
- 産業振興を担う地域の人材の育成
- 羽村ブランドの創出、PR
- 観光の推進
- 企業への融資や助成金などの支援
- 企業誘致、市内大手企業との関係強化

アンケート結果p12-p13 質問14)～15)

産業振興に関する市民の意見

羽村市の産業について

1. 商業環境の充実・飲食店・生活利便施設の誘致

市内の飲食店・カフェ・ホームセンター・食品スーパーが不足している、小作駅周辺や奥多摩街道沿いの商業空白地帯の解消や、「市内に魅力がないから市外で消費せざるを得ない」という意見があった。

2. 企業誘致・工業用地の確保と産業基盤の強化

公共施設再編で生じた跡地・空き地への企業誘致や、工業を雇用・税収・技術集積の基盤産業として明確に位置付けなど、工場用地の不足や新規事業所誘致の必要性を訴える声が意見があった。

3. 観光資源の発掘・連携・回遊導線の整備

玉川上水・取水堰・羽村神社・大澄山等のハイキングコースや、多摩川サイクリングロードの整備・連結など、既存観光資源を活かした回遊ルートの整備や、看板の老朽化・案内表示の不明確さを指摘する意見があった。

アンケート結果p14-p18 質問16)

産業振興に関する市民の意見

羽村市の産業について

4. 桜まつり・花と水のまつりの会場とイベントの充実

花と水のまつりを堰周辺に戻すことを求める意見が複数寄せられた。また、市民と産業のまつりについて、S&Dスポーツパーク富士見（富士見公園）だけではなく、駅前等への分散開催によって開放性・集客力を高めるよう提案があった。

5. 情報発信・周知の強化とPRの充実

イベントや支援制度の情報が市民に届いていないとの指摘があり、市のLINEや掲示板・SNSのより積極的な活用を求める意見があった。また、市のPRについては「商業ベースでプロに委ねるべき」「行政主導のWEBやアプリはクオリティが低い」という率直な意見も寄せられた。

産業振興に関する市民の意見

羽村市の産業について

6. 公共交通（はむらん）の利便性向上

はむらんの路線・停留所を飲食店や物販店の近くに整備し、買い物や外出がしやすい環境にするよう求める意見があった。平日のみ運行への縮小に対しては、デマンドタクシーへの転換を提案する意見もあり、交通と産業振興の一体的推進が求められた。

7. 若者・子育て世帯が定住できるまちづくり

若い家族が住みたいと思える店舗・施設・就業機会の充実を求める意見があった。若年層の流出が税収減につながるという危機感から、市内での就業・子育て・生活が完結できる環境整備の必要性が訴えられた。

産業振興に関する市民の意見

羽村市の産業について

8. 羽村ブランドの創出と地域資源の活用

はむりんを活用したグッズ販売や、羽村野菜・根がらみ前水田・羽村米の復活など、地域固有の資源をブランド化・商品化する意見があった。

9. 計画の実効性確保・PDCAの徹底

第2次計画について、PDCAが機能していないとの意見があった。数値目標の設定・年次検証・公表による計画の実効性担保を求める声があり、分野横断型KPIの導入を提案する意見もあった。

10. 観光案内所の存続・移転と総合的なまちづくりの推進

観光案内所の駅近への移転を求める意見があった。また、コンサルや地域おこし協力隊など外部の知見を取り入れた観光事業の抜本的改革、自転車まちづくり・地域小説によるメディア展開・コミュニティFM設置など、多彩なアイデアが寄せられた。

06

課題解決に向けた産業振興施策の方向性

- 商業環境の充実（市内商店・飲食店の誘致と利便性向上）
- 観光資源の発掘と発信強化（既存観光資源の活用や羽村ブランドの創出、クオリティの高い発信）
- 就業機会の拡充（企業誘致・創業支援・若者が働ける場の確保）
- 公共交通と産業の一体化（はむらんバスの路線見直しと商業施設・観光地へのアクセス改善）
- 情報発信・周知の強化（支援制度・イベント情報のタイムリーな発信）
- 計画の実効性確保（数値目標の設定とPDCAサイクルの徹底）

アンケートへのご協力、
ありがとうございました。